

自分にしかできないこと

(原文)

小坂 海司 (12 歳)

広島県

広島なぎさ中学校

ぼくは、だめな自分にしかできないことについて、書きたいと思います。

まず、お金を持っている人間の方が立場が上、運動能力が高い方が立場が上、頭が良い人間の方が立場が上など、何かができる人の方が立場が上だという考えをかえたほうが良いと思います。理由は、どんな人種、どんな国籍、どんな年れいの人でも、何か自分にしかできないことがあると思うからです。私にはこれができない、ぼくにはこれができないと、できないことばかりを考えるのではなく、私にはこのことができる、ぼくには何ができるだろう、そう考えることが大事なのだと思います。そして、一人一人にしかできないことを考え続け、一人一人が自分にしかできないことを他人に向けて他人のために使うことが大事なのだと思います。この文章を書いているぼくでも、何で自分は頭が悪いんだろう、何で自分はこんな事しかできないんだろうと考えていました。だけどあるとき、自分にしかできないこんな事で、一体何ができるだろうか、一体何人の人の笑顔を得られるだろう、そう考えることにしたので。そうすると、思っていたよりもだめな自分にしかできないこんなことは、色んな人の役に立つということが分かったので。折り紙をきれいに折る、料理が得意、本を素早く読める、どんなことでもいいんです。どんな人でもいいんです。だめな自分にしかできないこんな事には、無限の可能性があり、計り切れない価値があるんです。だめなことは直せばいい、だめな自分は変えればいいんです。鬼ヶ島に行った桃太郎だって、不思議の国に行ったアリスだって、完ぺきな人間ではなかったと思います。いつだって物語の主人公は、自分にしかできないことを考え、自分にしかできないことを自分にしかできない形で実行しただけなんだと思います。こんなに字がきたないぼくも、ぼくの大好きな物語を書くことで、たくさんの人を笑顔にできます。自分にしかできないことをみんなが考え、みんなが実行すれば、みんなが幸せに生活できると思います。そのためには、お互いにしかできない事を考え、お互いを尊重し、お互いにしかできないことをするべきだと思います。ぼくがこの作文を書くためにも、えんぴつを作った人がいて、作文用紙を作った人がいると思います。世の中はお互いにお互いにしかできないことをして成りたっているんだと思います。そして、相手にしかできないことをしてくれた相手に、感謝することも大事だと思います。それこそ、晩ご飯を作ってくれた親に対しても、授業をしてくれた先生に対しても感謝することが大事だと思います。一言何かをしてくれた人に対しても、「ありがとう」ということだけでも、お互いに尊重しているということになるのではないのでしょうか。今世の中には、自分にしかできないことがあるのに、それを生かし切れていない人が多いと思います。

そんな人たちが、だめなぼくのだめな作文を読んで、自分にしかできないことをみんなのために使ってくれるように願って、この作文を終わりたいと思います。